

正福寺報

平成 30 年正月号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

みんな観音さま

正福寺住職 松原 行樹ぎょうじゅ

京都・大徳寺の開山、大燈国師（だ
いとうこくし）に、ある僧が、

「今日は和尚様が法を説かれると
いうことで、多くの僧が集まっ
てきました。そこで和尚様は
いったいどうしたいぞと、
問いました。」

すると大燈国師は、

「家家観世音（かかかんぜおん）
と答えました。」

「家家」というのは、「各自」です。
つまり、「君たちが、観音さまだとい
うことを説くのだ」ということ
です。怒りっぽい、ひがみっぽい、
他と比べたがる私にも観音さまが
いらっしやるのでしょうか。
実家の寺には、亡くなった祖母が、

花が好きだったということもあつて、
大小さまざまの花が植わっています。
山門から入って玄関に通じる道が
あり、そこに敷石があります。その
敷石の横に、祖母が縁日などで買っ
てきた鉢植えの花を植えていました。
敷石のすぐ横ですから、お参りの
方やお客様が誤って踏みかねません。
そこで祖母は、小さな木の棒に、

「わたしがここにいます」

と書いて、立て掛けました。

花もいのち、私もいのち。花が私
であり、私が花である。そう思うと、
足元に気を付けますし、みだりに抜
いたり切ったりできません。

物事を自分の事のようによく観・察
し、いたわりの心で接していく。こ
れが観音さまの心であり、この心は
皆に具わっているのです。このこと
を信じて過ごしていきたいものです。